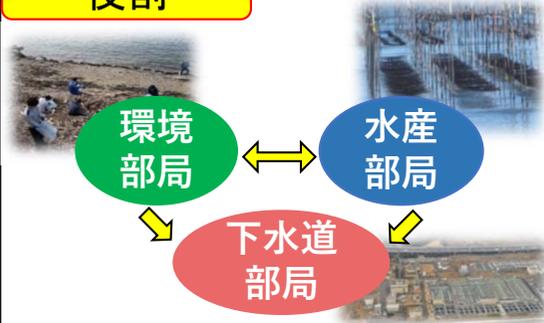


目的

「水質の保全」
「自然景観の保全」
+
「生物生息環境の保全、再生」
「水産資源の持続的な利用と確保」

削減から
管理へきれいで
豊かな伊勢湾へ

役割



それぞれの役割

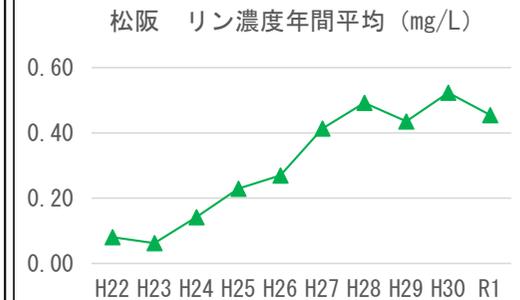
環境部局：工場等の水質規制、
海岸漂着ごみ対策
水産部局：藻場・干潟の再生、
適正な栄養塩類に
関する調査研究
下水道部局：**栄養塩類の計画的な
放流（10～3月）**

三重県の流域下水道



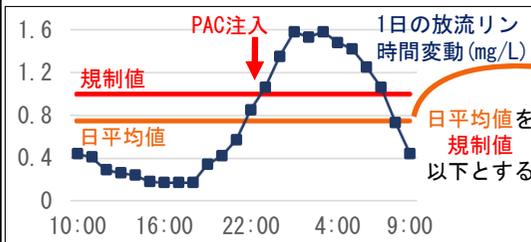
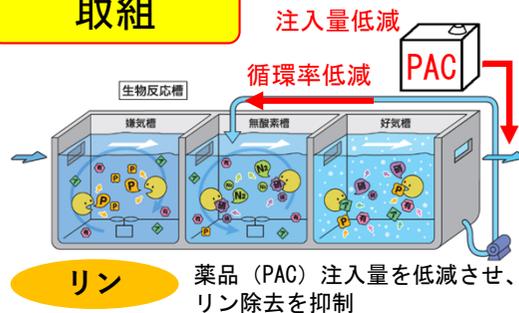
これまでの濃度推移

リン



コスト削減を目的とし、薬品 (PAC)
注入量を低減するよう努めてきた。
その結果、放流リン濃度は上昇して
いる。

取組



窒素

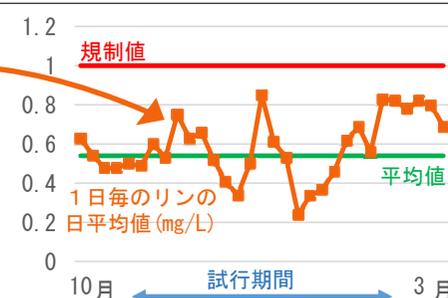
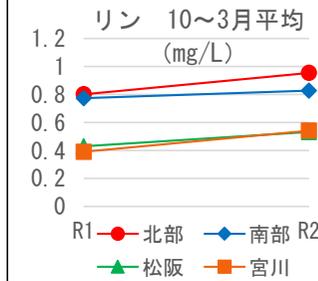
循環率を低減させ、窒素除去を
抑制する運転方法を調査中

結果

リン

※10～3月の濃度 (mg/L)

	R2年度 流入濃度	規制値	R2年度 放流濃度	R1年度 放流濃度
北部	2.2～4.7	1.4	0.95	0.79
南部	2.8～6.4	1.3	0.81	0.76
松阪	2.9～6.4	1.0	0.52	0.43
宮川	1.8～7.9	1.0	0.54	0.40



	R1→R2 年間排出量 (t)	排出量 上昇率	R2年度 年間水量 (万t)	水量 上昇率
北部	27.9→30.4	109%	3,429	97%
南部	12.0→13.4	112%	1,678	102%
松阪	4.9→5.6	114%	1,115	103%
宮川	2.6→4.0	154%	721	103%

今後

リン

安定した排出量の維持

窒素

引き続き調査



他部局との連携

環境部局
第9次総量規制の策定水産部局
下水道管理運転の効果検証